

平成26年度富里市地域公共交通会議（第1回）会議録

日 時	平成26年6月18日（水） 午前10時～	場 所	富里市役所 分庁舎大会議室
出席委員	石橋規委員，相川直雄委員，尾崎行雄委員，高田敏秋委員，寒郡茂樹委員，佐々木努委員，丹さく子委員，今村泰弘委員（平山正二氏 代理出席），鶴澤尚夫委員（梅田和也氏 代理出席），篠崎秀樹委員，高中正明委員（飯田謙二氏 代理出席），中野善敦委員		
欠席委員	長谷川英利委員，吉野一行委員		
事務局	佐々木総務部長 総務部企画課：萩原課長，細野副主幹，篠原主査補，池田主査補 健康福祉部高齢者福祉課：矢口副主幹，上野主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）第4次実証運行計画の検討について【事務局説明】</p> <p style="padding-left: 2em;">「質疑・意見」</p> <p>【委員】</p> <p style="padding-left: 2em;">さとバスルートで利用がない区間を省略するとあるが利用ニーズがあった場合、どのように対応するか。</p> <p>【事務局】</p> <p style="padding-left: 2em;">現在のルートをほぼ同一のルートで2路線に分けている。これまでの利用状況から影響は少ないという結果を踏まえ進めていく。</p> <p>【委員】</p> <p style="padding-left: 2em;">乗降ポイントの追加要望である「さつき団地」，「浅間台」について，この地域は当社が本城台線の路線バスを運行しており，平日18本、土日14.5本運行している。</p> <p style="padding-left: 2em;">この路線に「さつき団地入口」停留所があるが平成15年11月に地元の要望により新設した経緯がある。</p> <p style="padding-left: 2em;">また，当路線は当初成田空港に連絡したが利用者の減少により減便し，効率化を図り何とか続けてきた。平成18年には空港への利用がないことからルートを三里塚まで短縮，最終的には平成21年にルートを芝山町まで延伸し収支改善に向け思索を重ね現在に至っている。</p> <p style="padding-left: 2em;">このことから，乗降ポイントの追加要望である「さつき団地」と「浅間台」の乗降ポイントを設置することは，さらなる運行回数の削減，また，運行ルートの見直しをせざるを得なく，先々は一部路線の廃止につながってくるとの結論に至り今回の対応とさせていただいた。</p> <p style="padding-left: 2em;">本路線は地域住民の重要な交通手段と認識しているので今後もできる限りの</p>		

路線の存続に向け現行の体制を維持していきたい。

【委員】

基本的に既存路線バスとの整合性を執るべき。

市域全体で既存路線バスの区域とコミュニティーバスの区域がどの地域で競合するのかをプロットして示していただきたい。

デマンド交通ルートで過去の循環バスの利用者がどの交通手段に転換したか追跡調査はしているか。持続可能な公共交通を目指していくために過去利用していたが現在利用しない方のニーズをとらえ、改善できるものは改善していった方が良い。

デマンドの目標・評価基準が必要。評価という観点では単純に利用者数だけでは物足りない。推計値や目標となる収支率など定性的な評価基準を設けて評価を行い見直すことが必要である。

【事務局】

地域のコミュニティーバスについては、既存路線バスの補完ということで考えているので引き続き既存事業者と協議調整を図っていく。以前の循環バスを利用していた方への追跡調査は実施している。再度改善できるものは確認しながら進めていきたいと考えている。

以前の循環バスの利用者数が目標の一つであり、さとバスははっきりとした目標は設定していないので今後整理していきながら検討していきたいと考えている。

【委員】

さとバスの「中沢」から「新橋公民館」が利用されていない理由は分析しているか。高齢者が少ない、広報が行き届いていない、家族構成で若い人がいるから車を出してくれるなど何か要因があるのではないか。要因を分析することで利用者を増やす対策になるのではないか。

【事務局】

以前から利用が少ない。アンケート調査で「自家用車があるので利用していない」という回答が多かった。さとバスは登録者データがあるわけなので高齢者の多い少ないは分からないが高齢化はどこでも進んでいるという認識である。

【委員】

乗降ポイントについて現地を確認しながら協議してきた。設置に警察署の許可を得たと聞いているが、二区東の乗降ポイントは一部見通しも悪いので安全対策を踏まえ十分安全上を考慮した上で設置をしていただきたい。停留所の設置については個人の庭先で廻ることがないように原則道路上や商店の駐車場を使い先行き変更することがないように場所としたい。

【事務局】

安全対策等を踏まえ今後も検討していく。

【委員】

オンデマンドは公共交通より福祉交通ではないか。利用者も 65 歳以上も多

い。今後方針としてどう考えるか。

【事務局】

公共交通としてドアツードアの実施は困難。市民からの要望など総合的に協議・整理しできるものについて取り組んでいきたい。

【会長】

他に質問が無ければ、その様な形で進めさせて頂く。

【委員】

一同承認

(2) 地域公共交通会議において協議が調っていることの証明について

【事務局説明】

【委員】

現在の運行は乗り継ぎで料金がかさばってしまう。

従前にあった1日乗車券などは考えていないのか。

【事務局】

今回のルート変更では市役所まで300円で行ける。

【委員】

市役所だけならいいが、買物等を考えると10時台のダイヤがあると良い。

【事務局】

ルート変更は市役所へのアクセス強化をしている。

時間設定は酒々井駅での乗り継ぎに配慮した設定をした。市役所18便ある。

1日乗車券は今後の検討課題としたい。

【会長】

他に質問が無ければ、その様な形で進めさせて頂く。

【委員】

一同承認

(3) 自家用有償旅客運送（富里市移送サービス事業）の登録更新について

【委員】

NPOはどのような団体か。

【事務局】

福祉輸送サービスを申請している。要介護・支援者など交通弱者への移送サービス事業を行う団体である。

【委員】

運行実績があるのか。

【事務局】

まだ実績はない。本会議において協議が調ってから実施することができる。

【会長】

他に質問が無ければ、その様な形で進めさせて頂く。

【委員】

	<p>一同承認</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---